

機関番号：34511

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2007～2010

課題番号：19320042

研究課題名(和文) 古浄瑠璃年表編纂のための総合的基礎研究

研究課題名(英文) Comprehensive basic research of the compilation of old Joruri chronology

研究代表者

阪口 弘之(SAKAGUCHI HIROYUKI)

神戸女子大学・文学部・教授

研究者番号：70047299

研究成果の概要(和文)：

本研究は、学界で懇望されている『古浄瑠璃年表』編纂にむけての総合的な基礎調査研究を目的としたもので、国内外に所蔵されている正本をはじめ、絵巻・奈良絵本・写本(奥浄瑠璃を含む)などの総合調査を通じて、多くの新出本文を発掘して、古浄瑠璃史の更新にむけての基礎資料の整備充実を果たした。また、これら新出資料の年代考証と併せ、初期段物集や当代諸日記等の記録類の調査整理をも重ね、総合的な古浄瑠璃年表作成にむけての研究作業環境を整え、今後へ引き継ぐべき研究基盤の強化を果たした。

研究成果の概要(英文)：

This study was aimed at investigating the basic research to compile a revised version of the old Joruri chronology, which the academic community has been waiting for. This experiment was conducted to prepare the basic investigation of “Sho-hon” ” Emaki” “Nara-e hon” “Sha-hon” (including “Oku-Joruri”) in both Japan and abroad. We arranged the materials which are called “former Dan-mono shu” and the then some diaries from the old Joruri chronology, this was done with a deep historical investigation of these materials. The experiment indicated a concrete environment and strong research system for further study.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
2008年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
2009年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
2010年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
年度			
総計	14,400,000	4,320,000	18,720,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：近世文学・国文学・近世芸能・芸能史・浄瑠璃・近松・古浄瑠璃年表・文楽

1. 研究開始当初の背景

近世演劇研究は、そのまま近松研究といわれる程に、近松については早くから研究の積

み重ねがみられた。しかし、古浄瑠璃については、『古浄瑠璃正本集』(角川書店)全10巻によって確かな研究道筋が示されながら、そ

れに応える研究状況がなかなか生まれなかった。各作品の古浄瑠璃史への位置づけに困難が伴ったためである。そうした研究状況を打開するために、『義太夫年表 近世篇』につなぐ確かな『古浄瑠璃年表』編纂が期待されてきた。

2. 研究の目的

浄瑠璃研究は、『近松全集』や『古浄瑠璃正本集』の相次ぐ刊行によって、古浄瑠璃から近松へという人形浄瑠璃史の流れがようやく辿れるという状況が現出した。しかし、古浄瑠璃の時代は長く、なお資料博搜と善本発掘に努めねばならない。本研究はそうした総合的基礎調査研究としてあり、その成果を盛り込み、近い将来『古浄瑠璃年表』として結実させることを目的とする。

3. 研究の方法

- (1) 六段本(江戸板)の徹底した総合調査と、その作業を通しての善本発掘。
- (2) 絵巻・奈良絵本・古写本(奥浄瑠璃本を含む)調査を通じて、古浄瑠璃系本文の抽出と作品年代の特定。
- (3) 初期段物集や当代諸日記等の記録類の網羅的調査を重ね、『古浄瑠璃年表』編纂にむけての資料整備。

4. 研究成果

- (1) 日本国内はもとより、ヨーロッパなどで古浄瑠璃系本の網羅的調査を実施し、新出本文の発掘に成果を挙げた。また、関連して多くの善本を収集できた意義も大きい。

以下、主な善本類を列举する。

- ①熊野の御本地 うろこかたや孫兵衛 宝永6年
- ②しだの小太郎
- ③釈尊記(釈迦由来記) 大本写本
- ④しやかの御本地 うろこかたや孫兵衛
- ⑤日れんき 寛文4年正月カ
- ⑥大しよはん [鱗形屋孫兵衛]
- ⑦[曾我十番切] 享保5年正月 うろこ形や孫兵衛
- ⑧[逸題公平浄瑠璃] わたなべちりやく打
- ⑨けいこ上るり 土佐少掾段物集 木下甚右衛門
- ⑩蘭曲後撰集 土佐少掾段物集
- ⑪楠軍記 三之巻
- ⑫義経記初巻 伏見常盤 大和少掾
- ⑬はちの木 角太夫正本(推定)
- ⑭[ぎおんおどりくどき]
- ⑮神社仏閣江戸名所附
- ⑯山中ときは 写本

- (2) 研究代表者(阪口)が主宰する「奥浄瑠璃研究会」との連携により、多くの奥浄瑠璃を発掘して、これらを中央の浄瑠璃史に関係づけることで、総合的「古浄瑠璃年表」を構想するに至った。特に中央に対応本を見出せない所謂新出善本については、「奥浄瑠璃研究会」との連携のもと、解題を添えて翻刻紹介本の公刊を予定している。

特記すべきテキスト(作品)を、以下列举する。

- ①十和田山本地
- ②十和田神社実秘録
- ③牛若丸東下り
- ④嶋原高尾江戸下り
- ⑤本朝貞女鏡
- ⑥天狗内裏 他に異本2本も
- ⑦[鬼塚根来合戦]
- ⑧真取合戦
- ⑨常盤御前鞍馬破
- ⑩二人くずの葉
- ⑪安達物語
- ⑫四天王国廻
- ⑬常盤問答
- ⑭清川大堰開発
- ⑮桂清水物語
- ⑯今川二度忠臣
- ⑰壺坂之本地

- (3) 当研究課題に付随して得られた近松や大阪の近代芸能事情等についても、新知見を盛り込んだ研究成果を公刊したり、またはその準備を進めるといふ顕著な成果が見られた。

なお、上記事項に関連して、神戸女子大学(行吉学園)の後援を得て開催した、次の2つの学術シンポジウムは、研究者や一般市民それぞれ数百名以上の聴講もあり、大きな成果を挙げた。いずれも、当研究課題の拠り立つ基盤、あるいはその後の展開という点で関係するところが多く、研究成果の一として付記しておきたい。

シンポジウム(講演会)の内容は、以下の通り。いずれも、単行本・記録冊子・神戸女子大学古典芸能研究センター紀要などで公表している。

- ①「近松再発見」平成20年11月29日
[講演者およびパネリスト]
渡辺保 亀岡典子 信多純一 鳥越文蔵 原道生 阪口弘之
- ②「平家の魅力を神戸から」平成21年11月14日
[講演者およびパネリスト]
ドナルド・キーン 鳥越文蔵 高橋昌明
アン・ケーリ 阪口弘之 加藤隆久

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計27件)

- ① 林久美子、「賢女手習並新曆」と「曆」—作品の意図と垂加神道のことなど、神戸女子大学古典芸能研究センター紀要、査読無、第4号、2011、97—109
- ② 阪口弘之、近世道頓堀芝居事情—近松・義太夫・出雲—、近松再発見、査読無、単行本、2010、57—75
- ③ 井上勝志、近松と万太夫、近松再発見、査読無、単行本、2010、76—91
- ④ 沙加戸弘、江戸時代の庶民教化の展開、教化研究、査読有、第147号、2010、64—80
- ⑤ 沙加戸弘、真宗道場の法座における蓮如上人伝の展開、佛教文學、査読有、第34号、2010、191—204
- ⑥ 阪口弘之、佐渡七太夫と武蔵権太夫—説経段物集を紹介しながら—、かがみ、査読無、第40号、2009、67—96
- ⑦ 阪口弘之、元禄上方歌舞伎界の交流—『日本女護島』からみえるもの—、神戸女子大学古典芸能研究センター紀要、査読無、第2号、2009、1—19
- ⑧ 沙加戸弘、二河白道から源信へ—真宗関係浄瑠璃の側面—、文藝論叢、査読有、第72号、2009、97—108
- ⑨ 阪口弘之、『鳥羽恋塚物語』初演時テキスト、演劇研究会会報、査読無、第35号、2009、1—7
- ⑩ 林久美子、源氏絵と『浄瑠璃御前物語』、CHRONOS、査読無、vol. 30、2009、2—5
- ⑪ 沙加戸弘、真宗関係浄瑠璃の発祥—東西本願寺・『しんらんき』—、商業出版—、真宗文化、査読有、第18号、2009、41—67
- ⑫ 井上勝志、近松と文楽、國文學、査読無、53巻15号、2008、106—112
- ⑬ 林久美子、近世演劇における異国、女性生活文化交流史研究—異文化の文物の交流に着目して—研究成果報告書、査読無、単行報告書、2008、29—37
- ⑭ 井上勝志、三絃の時空—三線・琵琶・三味線、神戸女子大学古典芸能研究センター紀要、査読無、創刊号、2008、31—38
- ⑮ 阪口弘之、Chikamatsu Monzaemon, Take moto Gidayu und die stadtische Kultur Osakas, H O R I N (法輪)、査読無、単行本、2008、23—32
- ⑯ 阪口弘之、古浄瑠璃、日本の伝統芸能講座 音楽、査読無、単行本、2008、293—305

[学会発表] (計14件)

- ① 林久美子、「賢女手習並新曆」論—義太夫旗揚時の演目に込められた意味—、演劇研究会、2010・10・30、同志社大学
- ② 沙加戸弘、『本願寺聖人親鸞伝絵』の聖人像、大谷大学博物館特別展記念講演会、2010・10・16、大谷大学
- ③ 阪口弘之、日本の伝統芸能の至芸—義太夫「伊賀越道中双六」の世界、大阪市立大学創立130周年記念日中伝統芸能競演会、2010・10・9、大阪市立大学
- ④ 阪口弘之、街道の牛若物語、「絵入り本国際学会」記念講演会、2010・8・28、思文閣美術館(京都市)
- ⑤ 沙加戸弘、真宗道場の法座における蓮如聖人伝の展開、佛教文學会、2009・7・18、龍谷大学
- ⑥ 阪口弘之、道頓堀興行界の戦略—出雲と義太夫—、近松、日本演劇学会、2009・6・27、大阪市立大学
- ⑦ 阪口弘之、日本人の季節感、中国華南師範大学特別講演会、2009・3・12、中国華南師範大学(中国・広州市)
- ⑧ 阪口弘之、『鳥羽恋塚物語』と『日本女護島』—新出本二点の紹介、演劇研究会、2009・1・26、同志社大学
- ⑨ 阪口弘之、高野聖と伝承—横笛の周辺—、京都橘大学女性歴史文化研究所シンポジウム、2008・7・5、京都キャンパスプラザ
- ⑩ 林久美子、渡海する人、渡来する物—近世演劇における異国—、日中比較文化学会、2007・10・20、同志社大学

[図書] (計5件)

- ① 阪口弘之・井上勝志・林久美子他、和泉書院、近松再発見 華やぎと哀しみ、2010、352 (13—75) (76—91) (318—336)
- ② 井上勝志、角川学芸出版、近松門左衛門「曾根崎心中」「けいせい反魂香」「国性爺合戦」ほか、2009、270
- ③ 田端泰子・河原和枝・野村幸一郎・林久美子、白地社、母と娘の歴史文化学—再生産される〈性〉、2009、211 (29—43)
- ④ 沙加戸弘、法蔵館、真宗関係浄瑠璃展開史序説—素材の時代—、2008、400
- ⑤ 高田衛・阪口弘之・山根為雄、小学館、雨月物語 冥途の飛脚 心中天の網島、2008、318 (123—212)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

阪口 弘之 (SAKAGUCHI HIROYUKI)
神戸女子大学・文学部・教授
研究者番号：70047299

(2)研究分担者

井上 勝志 (INOUE KATSUSHI)
園田学園女子大学・近松研究所・教授
研究者番号：90309443
沙加戸 弘 (SAKADO HIROMU)
大谷大学・文学部・教授
研究者番号：90123489
林 久美子 (HAYASHI KUMIKO)
京都橘大学・文学部・教授
研究者番号：70301645